

12 JR/モノレール都賀地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	42.2ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 都賀駅	42,150 人（平成 30 年度）
	モノレール都賀駅	12,210 人（平成 29 年度）
バス便数	都賀駅東口	176（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	都賀駅西口	47（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	15 施設	
生活関連経路延長	約 1,550m	
500m 圏人口	8,246 人	※JR 都賀駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次（500m）メッシュ）
500m 圏高齢者数	1,753 人	
500m 圏高齢化率	21%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・若葉図書館西都賀分館を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR/モノレール都賀地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の比較的低い地区です。駅から500m程度の所に、若葉区役所や若葉保健福祉センター等の公共施設が集積しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅の南東側に都市機能誘導区域が設定されています。乗換駅であり、JR 都賀駅の乗降客数は市内でも比較的多いです。バス便数は平均的な本数となっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが一部劣化している箇所や、電柱と視覚障害者誘導用ブロックの距離が近すぎる箇所、側溝の蓋の隙間が大きい箇所が見受けられます。駅周辺では路上駐輪が多く、移動の妨げとなっています。また、JR 都賀駅とモノレール都賀駅へ向かうルートの分岐点においてわかりやすい案内誘導が求められています。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。

